



Gratitude in Action (感謝を行動に)

2025 インパクトレポート



コミュニティとともに
歩んで19年



インパクトの広がり — 支援の歩み

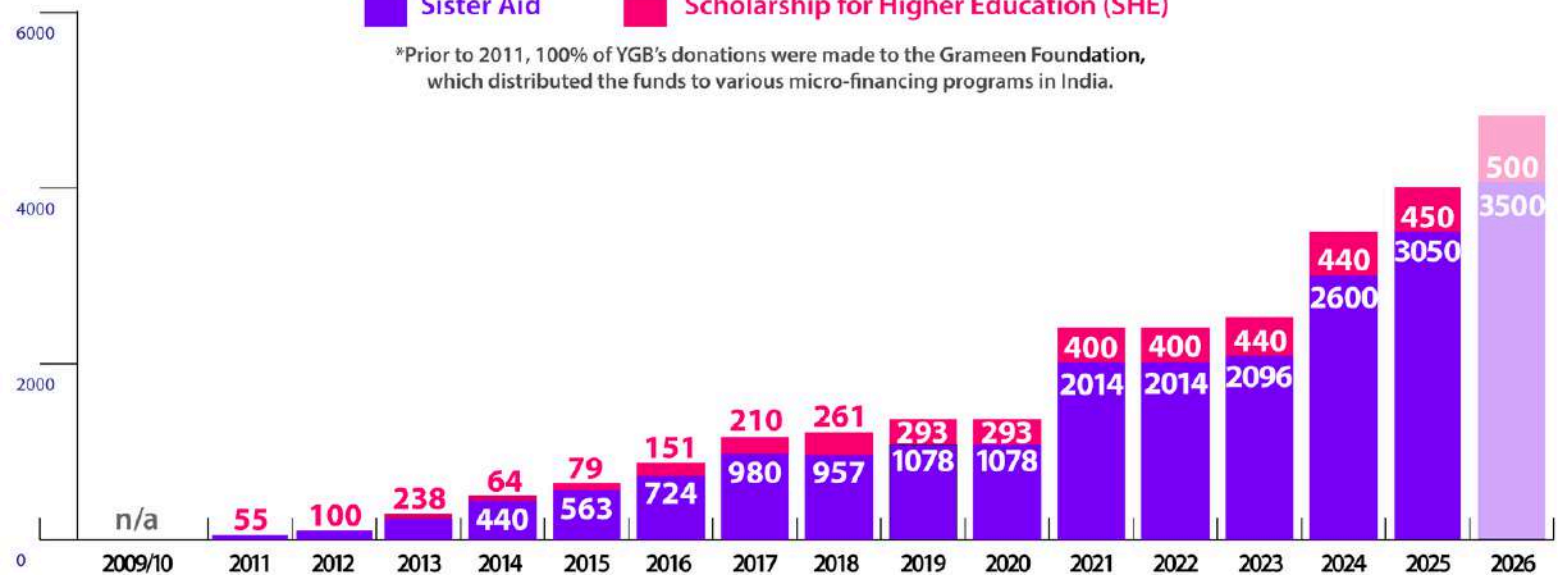
- 2011: 追跡開始 — 55人
- 2017: 最初のマイルストーン — 1,000人
- 2025: 実績 — 3,500人以上
- 2026: 目標 — 4,000人以上

(グラフ: 2011年~2026年目標までの女性・子どもへの支援数推移)

Growth in Women and Children Supported (2011–2026 goal)

■ Sister Aid ■ Scholarship for Higher Education (SHE)

*Prior to 2011, 100% of YGB's donations were made to the Grameen Foundation, which distributed the funds to various micro-financing programs in India.





YGBを支えてくださる皆様へ。

いつもご支援ありがとうございます。

YGBは、私がロサンゼルスでヨガのクラスに日々通い始めた19年前、ヨガへの感謝、そしてこの素晴らしい伝統の発祥の地であるインドへの感謝をかたちにしたいという思いを強く抱くようになったことから生まれました。嬉しいことに、このささやかな思いに世界中のヨガ仲間が共鳴してくれました。しかし、この活動がインドの女性と子どもたちをつなぐ「感謝の循環」へと広がっていくことを、その頃は想像もしていませんでした。

SHE (Scholarship for Higher Education / 高等教育奨学金) の奨学生の一人、ルチタさんの物語をご紹介させていただきたいと思います。ルチタさんは幼い頃に両親を亡くし、祖母に育てられました。祖母は、花輪を売って得るわずかな収入で2人の孫娘を育ててきました。ルチタさんは、高等教育はあきらめるしかないと思っていました。ですが、YGBのSHE奨学金を得て、今ではエンジニアになる夢を持ち、大学進学を目指しています。私たちが最も勇気づけられるのは、彼女の粘り強さだけではありません。将来エンジニアになったら、自分のコミュニティの貧しい子どもたちが高等教育へアクセスできるように支援したい。そして貧困の連鎖を断ち切りたい——そんな“未来へのビジョン”を、彼女は持っているのです。ルチタさんの決意は、私たちに大事なことを教えてくれます。教育の機会を得ると、希望は行動へと変わり、世代を超えた大きな力となるのです。

「Ruchita's Journey (ルチタさんのジャーニー)」(日本語版)は、YGBのYouTubeチャンネルでご覧いただけます。

ルチタさんのストーリーは、感謝が決して受け身のものではないことを教えてくれます。感謝は、私たちが奉仕活動へと喚起してくれます。Yoga Gives Backはこれからも、世界のヨガコミュニティの中で、カルマ・ヨガ(行動するヨガ)とセヴァ(無私の奉仕)の実践を普及し、ヨガの本来の目的を明確に伝えていきます。

皆さまが私たちの使命を支えてくださったおかげで、2025年、YGBはインド各地で3,500人以上の女性や子どもたちに、奨学金、小額ローン、デジタルアクセス、生理用品の提供、孤児へのサポートなどを支援することができました。このインパクトは、前年比10%の収益成長により実現し、プログラム資金は17%増加しました。このレポートが、30カ国以上に広がる世界のヨガコミュニティと一緒に生み出している「本当のインパクト」を感じていただく機会となることを、心から願っています。インドの女性と子どもたちをエンパワーしながら、世界中に感謝と行動を広げていく——それが、私たちの歩みです。

18年目を振り返り、19年目へと歩み出す今、私はこの成長し続けるコミュニティに、深い感謝の気持ちでいっぱいです。奇跡のような「感謝の循環 (CIRCULATION OF GRATITUDE)」を生み出し続けてくださる皆さまのご支援に、心より感謝申し上げます。

ヨガギブスバック代表

三松 佳代子
(在ロサンゼルス)

YGB役員

Ken Atchity, Annie Lau, Bhaskar Deva,
Deborah Caruthers, Deepa Chemery
Kay Epple, Pritha Ogden

Programs That Drive Our Mission

私たちの使命をかたちにするプログラム



Yoga Gives Backは、感謝の気持ちを「目に見える変化」へとつなぎ、インドで支援を必要とする女性や子どもたちを、教育・自立支援・保護・アクセス向上という柱で支えています。

私たちの取り組みは、個人の変化にとどまりません。家族の安定、地域の安全、そして次世代のリーダーたちが社会へ還元していく。そんな持続可能な循環（波及効果）を生み出すようデザインされています。

主なプログラム

- ・ グローバル教育・アウトリーチ
- ・ 高等教育奨学金（SHE）
- ・ 女性の経済的自立支援（小額ローン）
- ・ 子どもの保護と公立学校支援
- ・ デジタル・リテラシー・プログラム
- ・ 生理に関する衛生教育、アクセス推進（Pad Project）

GLOBAL AWARENESS & OUTREACH

WHAT IS THE GOAL OF OUR PRACTICE - YOGA?

グローバル・アウトリーチ

ヨガが目指す真の目的を実践



ジャパン・リトリート（2025年秋）

日本・韓国・米国から10名のアンバサダー講師、全国から総勢80名が参加。

カルマ・ヨガ（行動するヨガ）

ヨガの実践は、マットの上だけで終わるものではありません。

意識ある行動を通して、私たちの意図は確かなインパクトへと変わります。

時間、声、資源 - その一つひとつの分かち合いが奉仕となり、内なる気づきは「生きた慈愛」へと育まれていきます。

セヴァ（無私の奉仕）

見返りを求めない奉仕活動。

謙虚さと思いやりに根ざし、静かに誰かのために立ち上がる姿勢です。

自由な意志で差し出される行為は、人の尊厳を守り、コミュニティを育てます。

グローバル・アンバサダー・プログラム

32カ国に広がる約200名のアンバサダーが、クラス開催や108回太陽礼拝、多様なイベントを通して感謝を行動へと変えています。

毎年3月国際女性デー、6月Global Gathering for Indiaをはじめ、グローバルなムーブメントを毎年実践しています。

Global Gathering for India 2025 (2025年6月)
20カ国で100件のイベントが開催されました。



How We Create Impact

私たちが生み出すインパクト



YGBのプログラムは、地域パートナーシップ × 実践的支援 × リーダーシップ育成 × 保護強化という共通のモデルに基づいています。

- 地域コミュニティと連携する
- 障壁を取り除く
- リーダーシップを育む
- 保護を強化する
- 循環を生み出す

私たちは世界のヨガコミュニティとともに、感謝を行動へとつなげています。

SDGs整合：



SDG 1 貧困をなくそう



SDG 4 質の高い教育をみんなに



SDG 8 働きがいも経済成長も



SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう

インドのNGOパートナー

Deenabandhu Trust と Nishtha

YGBのインパクトは、長期的な信頼関係の上に築かれています。2010年以來、インドの信頼されるNGO組織Deenabandhu Trust（カルナータカ州）およびNishtha（西ベンガル州）と提携しています。教育・安全・自立への道を強化し、家族が世代を超えて貧困から抜け出せることを目指し、プログラムを発足、運営、支援しています。



Deenabandhu Trust (カルナータカ州)

- 1990年に創設者ジャヤDEV教授によって設立され、孤児や困窮した子供たちのための施設を運営しています。
- 「愛と受容」がこの施設の創設理念です。
- また、小学校から高校までの地域学校も運営しています。
- チャマラジャナガル地域の貧困家庭出身の若者143名が、グル・クルパ財団の助成金による高等教育のためのSHE奨学金で支援を受けています。



Nishtha (西ベンガル州)

- 50年前に設立されたNISHTHAは、女性のエンパワーメントを推進し、多様なプログラムを通じて4万人以上の生活を支援しています。
- 女性対象の小額ローンの提供、YGBのシスター・エイド・プログラムを通じた女子初等教育の援助。
- 高等教育奨学金プログラム（SHE）により毎年300人の女子学生を支援。
- ニューラーニング財団が支援するデジタルリテラシー・クロームブックプロジェクト。
- 生理用品プロジェクトを通じた生理の公平性と持続可能なビジネスへの展開。



EDUCATION PROGRAM SCHOLARSHIP FOR HIGHER EDUCATION (SHE) 高等教育奨学金プログラム

教育プログラム

2013年、5年間の高等教育奨学金プログラムを開始しました。貧困層の学生が教育を継続し、自立した未来を築けるよう支援しています。奨学金に加え、メンタリングとリーダーシップ育成も実施しています。

2025年の成果

- ・ 440名が奨学金受給
- ・ 220名がデジタル研修受講
- ・ 児童婚598件防止
- ・ 人身売買89件防止

WOMEN'S ECONOMIC EMPOWERMENT

女性の経済的自立支援



女性の経済的自立支援 — マイクロローン

小額ローンとコミュニティ支援を通して、貧困層の女性のビジネスを支援。15年間で1グループから49グループへ拡大し、平均収入は600%増加しました。また女性たちがお互いを支え合うグループを生み出したことが、力強い現実のエンパワメントに繋がっています。

2025年の成果

- 539名がローンを受給
- 1,000名が生理衛生教育と支援を受給
- 家庭内暴力853件を解決

SUCCESS STORY

FATHERS FOR DAUGHTERS' EDUCATION

サクセスストーリー：娘の未来を支える父たち



「貧しさゆえに、長女を若くして嫁に出さざるを得なかったことを、今も悔やんでいます。しかし、次女が教育を受け、看護師になるという希望を持ち勉強し、幸せな日々を過ごせていることに、心から感謝しています。」

— ある父親の言葉

西ベンガル州では、SHEプロジェクトがもたらす力強い波及効果が広がっています。娘の教育を支持する父親たちが増えたことで、地域の規範が変わり、若年結婚の圧力が減少しています。少女たちが学校に通い続け、尊厳を持って輝かしい未来を切り拓けるよう、コミュニティ全体が変化し始めているのです。

EDUCATION IN ACTION

GIRLS LEADING CHANGE

「教育」を「行動」へ。未来を拓く、少女たちの力。





クルスマの物語

かつて西ベンガルの農村で、たった一人で工芸品を作っていた職人のクルスマさんは、今や辺境の村々に住む**160人の女性**を雇用し、販売用の工芸品を生産しています。その背景には、奨学金制度の女子学生の大きな力があるのです。**シルパ（法学専攻）**や**スワガタ（会計学専攻）**のような、**奨学生たちは学んだ知識を基に、デザイン、価格設定、簡易簿記、店舗管理**などを通じて、村の小額ローン・グループの女性たちの指導にあたっています。小規模ビジネスの成長を支援し、eコマースへの展開を実現。

教育は、自信に満ちた若きリーダーたちを育てています。彼女たちは村の女性たちを鼓舞し、女性主導の自立した暮らしをより確実に継続可能なものにしていきます。



財務報告

150

デジタルリテラシー研修を受けた女子

443

高等教育のための奨学金

553

マイクロローン（小口融資）で支援した母親

600

初等教育を支援した孤児と少女

800

数学と科学の教材を提供した子供と教師

1000

生理用ナプキンと生理の平等に関する意識向上を支援した女子

グローバル・アウトリーチ （世界的な活動）

- 32カ国以上
- 150以上のアウトリーチイベント
- 200名以上のYGBアンバサダー

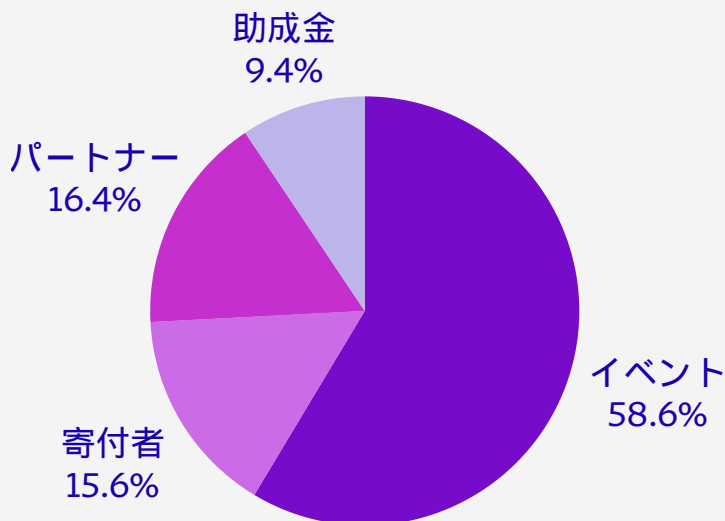
収益

2023 \$257,095

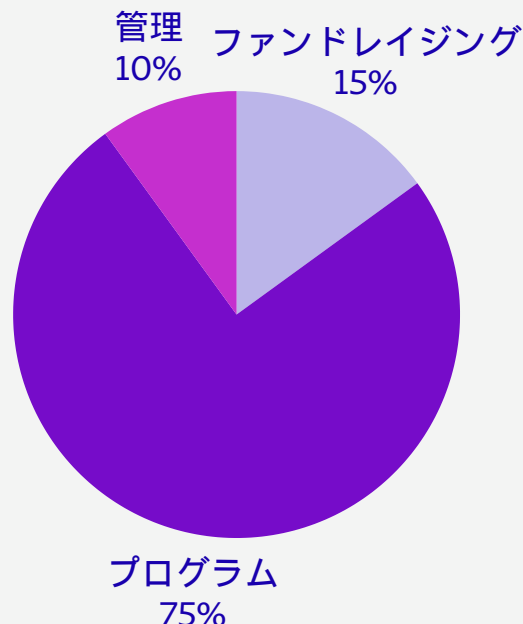
2024 \$315,786

2025 \$414,644

収益内訳



支出内訳



ANNUAL PARTNERS & FOUNDATIONS

(年間パートナーおよび支援財団一覧)



KEY WEST
YOGA SANCTUARY



Food for Health
Foundation



TOTO



TAEKO
SKIN CARE



**Kay & Tom Epple, Jocelyn Solomon & Daughters
Hiroko & Tadashi Maruoka, Nancy Megil
The Yoga Heals Fund**

**Adam Weissburg & Francie Jones,
Annie Lau, Kamla & Bala Subramanian,
Vladimir & Araxia Buckhantz Foundation,
Nisha Asnani, Reggie Molly Britt**

**Ariel Investments,
Alex Zornier, Janice Hill, Lynn Thread,
Markus Hanna, Maria Sanudo, Michael Cypers
Steve & Veronica Nessim,
108 Suria NamaskarasJapan**

Turning Gratitude Into a Brighter Tomorrow

「感謝」を「輝く未来」へ

お問い合わせは日本語でこ
らまでお願いします:
info@yogagivesback.org

Yoga Gives Back.org
501c3 Nonprofit Organization

Tax ID: 80-0412545

住所:
400 South Burnside Ave.
#11B Los Angeles, CA
90036 USA



facebook.com/yogagivesback



instagram.com/yogagivesback



youtube.com/yogagivesback

Platinum
Transparency
2026

Candid.

We act with integrity!
We've earned a



★ FOUR-STAR RATING ★

from

★ Charity Navigator